OUTLINE 2023

Mie University Graduate School of Medicine / Faculty of Medicine and Mie University Hospital Outline

三重大学大学院 医学系研究科・医学部

三重大学医学部附属病院

# 概要 2023

# 基本理念

## 三重大学医学部

**基本理念**

確固たる使命感と倫理観をもつ医療人を育成し、
豊かな創造力と研究能力を養い、
人類の健康と福祉の向上につとめ、地域および国際社会に貢献する。

## 三重大学医学部附属病院

**基本理念**

本院は、信頼と安心が得られる地域医療の拠点として、
未来を拓く診療・研究を推進し、
人間性豊かな優れた医療人を育成する。

**基本方針**

- 地域の拠点病院として、安全で質の高い先進的な医療を提供します。
- 臨床研修機関として、次代の担い手となる人間性豊かな人材を育成します。
- 新しい医療を目指す臨床研究を推進し、社会に貢献します。
- 医療・医育機関との連携・支援を推進し、地域医療の発展に尽くします。
- 疾病の予防を目指した教育・研究を推進します。
- 上記の基本方針を推進するために、健全で成長性のある病院経営を行います。

医学教育分野別評価
適合認定証

公益財団法人 日本医療
機能評価機構認定証

がんゲノム医療拠点病院
指定書

小児がん
拠点病院指定書

特定行為研修
指定研修機関指定証

## Contents


基本理念 …… 01
ご挨拶 …… 02
沿革 …… 04
組織図 …… 06

**職員・学生について**

役職員 …… 08
・大学院医学系研究科・医学部
・医学部附属病院
職員現員 …… 11
歴代研究科長等 …… 11
学生 …… 12
・医学部
・大学院医学系研究科

**大学院医学系研究科・医学部について**

図書及び雑誌 …… 14
国際交流 …… 14
解剖体数 …… 15
科学研究費助成事業採択状況 …… 15
外部資金受入状況 …… 15

**医学部附属病院について**

病院実績 …… 16
診療等実績 …… 18
臨床研究開発センター …… 20
医療機関等の指定状況等 …… 21
施設案内／病院各階案内図 …… 26

敷地及び建物面積 …… 28
建物配置図 …… 29
所在地・アクセス …… 30

# ご 挨 拶

## 三重大学大学院医学系研究科・医学部　医学系研究科長・医学部長 ご挨拶

医学部の前身は三重県立医学専門学校であり、2024年には開校80周年を迎えます。医学部は医学科と看護学科から構成され、大学院医学系研究科には、医科学専攻修士課程、生命医科学専攻博士課程、看護学専攻博士前期および後期課程が設置されています。医学部は開校以来、現在まで継続して保健医療福祉を支える人材を地域に輩出してきました。しかし、社会構造の変化に伴う医療ニーズの多様化、医療技術の高度専門化に伴い、地域社会が必要とする医療専門職の不足が顕在化しています。医学科では、三重県内の医師不足を解決すべく、入学定員増（1学年定員を100名から125名に拡大）、地域枠入学者選抜制度の導入（定員125名のうち地域枠関連枠35名）、三重県市町村振興協会との協定に基づく地域医療教育の強化に取り組んでいます。看護学科においても地域枠入学者選抜制度を導入し、看護学科学生が医学科学生とともに地域で学ぶ多職種連携型の実習を開始しています。これらの取組みなどにより、地域社会で活躍する医師・看護師不足は改善しつつありますが、医師・看護師の地域内での偏在、専門研修医が専攻する診療科の偏在、新型コロナウイルス感染症パンデミックで強く意識させられた感染症医療人材・公衆衛生人材の不足などの課題があります。地域社会から期待される医学部であり続けるために、これらの課題の解決に向けて継続して取り組む必要があると考えています。

地方国立大学には地域社会と共生することが求められていますが、それにとどまることなく研究活動を通して人類の健康や福祉を向上させる“知”を創出していくことも私達の役割であると認識しています。医学系研究科には優秀な研究者が多く在籍しており、世界に通用する研究業績を発信しています。また、卓越した教育研究活動を実践することで魅力ある大学にならなければ大学間競争に取り残されてしまう状況があります。医学部での教育研究活動の特徴のひとつに高い国際性があります。医学部では第6学年の学生をアジア・アフリカ・欧州などの国々での臨床実習に送り出しています。これまでに海外臨床実習に参加した学生数は500名を超えています。大学院教育では、文部科学省「国費外国人留学生の優先配置を行う特別プログラム」に2013、2019、2022年度に連続して採択され、ガーナやザンビアなどからの留学生が増加しています。2021年には日本医学教育評価機構・世界医学教育連盟による医学教育分野別評価を受審し認証を受けました。さらに2020年度厚生労働省「総合的な診療能力を持つ医師の養成推進事業」、2021年度文部科学省「感染症医療人材養成事業」、2022年度「ポストコロナ時代の医療人材養成拠点形成事業（三重大学、高知大学、和歌山県立医科大学による共同事業）」、2022年度「医学部等教育・働き方改革支援事業」に採択され、それぞれの事業で特色のある教育活動を展開しています。

三重大学は伊勢湾に沿った自然豊かな地に立地し、創設時からの大学のシンボルカラーである翠（澄みわたる空・緑まぶしい樹木・紺碧の海）が映えるキャンパスで学生達は学んでいます。恵まれた学習環境で学生達は医学の勉学に勤しむとともに、医療者に求められる強いからだと豊かな人間性を育んでいます。その成果は、過去数年にわたる医師国家試験・看護師国家試験での高い合格率や西日本医科学生総合体育大会での好成績にも顕れています。

2019年から流行が拡大した新型コロナウイルス感染症により教育研究活動に大きな影響がでています。また、文部科学省から国立大学への運営費交付金の削減が継続して実施されています。このような困難な状況のなか、医学部には組織改革・カリキュラム改編による特色ある教育研究活動の創出と教員数の調整、さらには地域社会との協働と社会への貢献が求められています。

大学院医学系研究科・医学部は、学生と教職員との協力の下に未来を創造する教育研究活動を推進し、社会への貢献とともに社会に対する説明責任を果たしていきたいと考えています。今後とも三重大学大学院医学系研究科・医学部の教育研究活動へのご理解とご支援をお願い致します。

医学系研究科長・医学部長
堀 浩樹

## 三重大学医学部附属病院　病院長 ご挨拶

三重大学医学部附属病院は、1987年（明治9年）に三重県医学校兼治療所が、安濃郡塔世村（現在の津市栄町）に設置されたことに端を発します。戦時中の1944年（昭和19年）、三重県立医学専門学校の設立に合わせて同附属病院となりました。この時点から数えて、80年目となります。その後、1972年（昭和47年）には県立大学医学部から国立移管、翌年に現在の場所（津市江戸橋）に移転いたしました。2012年（平成24年）1月に、屋上にヘリポートを備えた12階建ての新病棟が稼働し、2015年（平成27年）5月に新外来・診療棟が開院し、さらに2018年（平成30年）3月に駐車場・外構工事も終了して、ここに新しい本院が完成しました。

本院は、厚生労働省が指定した全国87病院のうち、三重県で唯一の「特定機能病院」です。1）人間性豊かな優れた医師や医療者の育成、2）最先端の医療や医療技術の開発、そして 3）「最後の砦」となる重症患者さんに対する医療を展開しております。2020年からの新型コロナウイルス感染症では、三重県で発生した約60パーセントの重傷者を受け入れ、人工呼吸療法やECMO療法（人工肺とポンプを用いた体外循環回路による治療）を施行してきました。三重大学病院は、一般病床655床、精神科病床30床、救急救命センター集中治療室（ICU）8床、病棟ICU6床、高度治療室10床、新生児集中治療室12床、母体胎児集中治療室6床を有しており、高度急性期・急性期医療を中心に行っています。年間約1万8千人の入院患者さん、約33万人の外来患者さんを受け入れています。手術室は16室あり、年間約7000件の手術を行っています。

本院は、都道府県がん診療連携拠点病院、小児がん拠点病院およびがんゲノム拠点病院であり、最先端のがん診療を行ってきましたが、2022年11月から総合がん治療センターを設立し、さらに充実させました。小児・AYAがん治療部門、成人がん治療部門、先端がん治療部門、がん支援部門および研究支援部門の5つの部門と40ユニットから構成されています。個人の遺伝子やがん組織の遺伝子を調べ、それぞれの患者さんにとって最適な治療法を、がん専門医が決定しています。また、術後の痛みが少ない低侵襲の手術を行うために、本院は内視鏡手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」サージカルシステムを2台備え、毎日施行しています。さらに、最新の薬物療法を導入した外来化学療法室も完備しています。社会的や経済的な問題にも対応できるように、「がん相談支援センター」がありますので、ご相談ください。

その他の高度先端医療として、循環器病に対する経カテーテル動脈弁留置術（TAVI）、経皮的僧帽弁クリップ術MitraClip、脳卒中のカテーテル治療、人工関節手術のナビゲーションシステムによる治療など、各診療科はわが国の第一線の診療を展開しています。

2022年4月からは、麻酔科診療も新体制となり、安全な手術や集中治療を行えるようになりました。患者さんの安全ファーストの診療を行っております。今後、安心・安全で、新しい時代のニーズに応えられるような病院となるよう、努力してまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

病院長
池田 智明

# 沿 革

**1876**（明治9年）
5月
三重県医学校が安濃郡
塔世村（現在の津市栄町）
三重県公立病院内に設立される

**1883**（明治16年）
9月
文部省より甲種医学校
（全国で13校）として
認可される

**1889**（明治22年）
9月
三重県公立病院の
施設を私立今井病院に
貸与

**1910**（明治43年）
4月1日
私立今井病院の貸与期間
満了につき三重県から
移管され津市立病院となる

**1943**（昭和18年）
12月10日
三重県立医学専門学校
設立／津市立病院が
移管され同附属病院となる

**1944**（昭和19年）
4月
三重県立医学専門
学校開校

**1947**（昭和22年）
6月18日
三重県立医科大学
設置

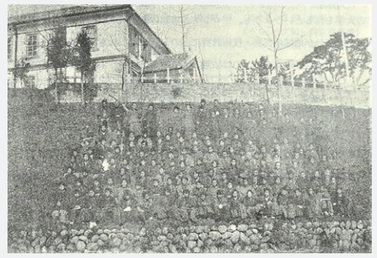
**1948**（昭和23年）
4月1日
三重県立医科大学附属
医院厚生女学部（甲種
看護婦養成所）開校

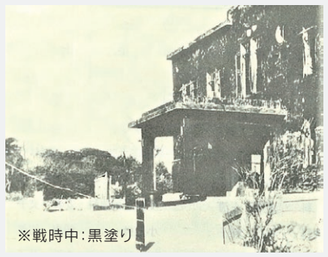
**1950**（昭和25年）
3月14日
三重県立大学設置

**1952**（昭和27年）
2月20日
三重県立大学医学部
設置

**1959**（昭和34年）
3月20日
三重県立大学大学院
医学研究科設置

**1972**（昭和47年）
5月1日
三重大学医学部設置
三重県立大学医学部
を国立移管


三重県甲種医学校（津市栄町）



医学専門学校附属病院本館
（現・県立美術館周辺）

三重県立大学 大谷町校舎

医学基礎校舎（津市栄町安濃川（塔世橋）周辺）

旧 医学部附属病院（津市江戸橋）

医学部看護学科校舎

**1973**（昭和48年）
10月1日
三重大学医学部附属病院設置
三重県立大学医学部附属病院を
国立移管

**1975**（昭和50年）
4月1日
三重大学大学院
医学研究科（博士課程）設置

**1991**（平成3年）
3月31日
三重大学医学部附属
看護学校廃止

**1997**（平成9年）
10月1日
医学部に看護学科を設置

**2001**（平成13年）
4月1日
大学院医学研究科に
医科学専攻（修士課程）を設置

**2002**（平成14年）
3月20日
附属病院に卒後臨床
研修部を設置

**2003**（平成15年）
4月1日
大学院医学系研究科を改組し
「生命医科学専攻」を設置

**2012**（平成24年）
1月1日
新病棟・診療棟開院
2月1日
三重県ドクターヘリの運航を開始

**2015**（平成27年）
5月7日
新外来・診療棟開院

**2016**（平成28年）
4月1日
看護学専攻（博士前期課程）と
看護学専攻（博士後期課程）を設置

# 組織図

## A 大学院医学系研究科

- A-1 博士課程／生命医科学専攻
- A-2 修士課程／医科学専攻
- A-3 博士前期課程・後期課程／看護学専攻

### A-1 A-2

**■ 基礎医学系講座**

組織学・細胞生物学
発生再生医学
生化学
幹細胞発生学
分子生理学
修復再生病理学
腫瘍病理学
統合薬理学
分子病態学
感染症制御医学・分子遺伝学
免疫学
医動物・感染医学
環境分子医学
公衆衛生・産業医学
法医法科学
医学医療教育学
免疫制御学
動物機能ゲノミクス
遺伝子病態制御学
細胞生物学・再生医療学

**■ 臨床医学系講座**

循環器・腎臓内科学
血液・腫瘍内科学
消化器内科学
呼吸器内科学
代謝内分泌内科学
神経病態内科学
リウマチ膠原病内科学
家庭医療学
精神神経科学
小児科学
皮膚科学
放射線医学
肝胆膵・移植外科学
消化管・小児外科学
胸部心臓血管外科学
乳腺外科学
産科婦人科学
脳神経外科学
運動器外科学・腫瘍集学治療学
腎泌尿器外科学
眼科学
耳鼻咽喉・頭頸部外科学
口腔・顎顔面外科学
形成外科学
麻酔科学
救急災害医学
リハビリテーション医学
臨床薬剤学
病態解析内科学
新生児学
成育医学
健康増進・予防医療学
臨床がんゲノム学
臨床形態異常学
臨床検査医学
ゲノム医療学
総合診療医学

### A-3

**■ 基盤看護学領域**
看護教育学／看護管理学／実践基礎看護学

**■ 実践看護学領域**
がん看護学／成人看護学
母性看護・助産学
小児看護学／老年看護学

**■ 広域看護学領域**
精神看護学／在宅看護学
地域看護学

### A-3

**■ 看護学領域**
看護教育学／実践基礎看護学
成熟期看護学／母子看護学
精神・ストレス健康科学／地域看護学

### A

**■ 産学官連携講座**
臨床創薬研究学講座※
システムズ薬理学講座※
個別化がん免疫治療学講座※

**■ 寄附講座**
認知症医療学講座※
先進医療外科学講座※
スポーツ整形外科学講座※
先進画像診断学講座※
先進がん治療学講座※
地域支援神経放射線診断学講座
先進血液腫瘍学講座※
脊椎先端治療学講座
公衆衛生・感染症危機管理学講座

**■ 多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材（がんプロフェッショナル）」養成プラン**
放射線腫瘍学講座※

※についてはA-1及びA-2に教育研究分野を設置

## B 医学部

- 医学科
- 看護学科

### B

**■ 医学・看護学教育センター**

**■ 寄附講座**
亀山地域医療学講座
三重県総合診療地域医療学講座
名張地域医療学講座
脊髄末梢神経低侵襲外科学講座
神経・筋病態学講座
脊椎集学治療講座
地域連携血管内治療学講座
個別化骨髄リンパ系腫瘍制御学講座
神経画像病態学講座
上肢整形外科学講座

## C 医学部附属病院

- C-1 診療部門
- C-2 中央部門
- C-3 支援部門
- 薬剤部
- 看護部
- 総合がん治療センター

### C-1

■ 総合診療科
■ 内科
循環器内科
血液内科／消化器・肝臓内科
脳神経内科／呼吸器内科
腫瘍内科／腎臓内科
糖尿病・内分泌内科
感染症内科
■ 外科
一般外科／消化管外科
肝胆膵・移植外科
心臓血管外科
呼吸器外科
乳腺外科／小児外科
■ 整形外科
■ 産科婦人科
■ 小児科
■ 精神科神経科
■ 皮膚科
■ 腎泌尿器外科
■ 眼科
■ 耳鼻咽喉・頭頸部外科
■ 脳神経外科
■ 形成外科
■ 放射線科
■ 病理診断科
■ ゲノム診療科
■ 麻酔科
■ 緩和ケア科
■ 救急科
■ 歯科口腔外科
■ リハビリテーション科
■ 総合診療部
■ ゲノム医療部
■ 救命救急・総合集中治療センター
■ 周産母子センター
■ 乳腺センター
■ 血管ハートセンター
■ 高度生殖医療センター
■ リウマチ・膠原病センター
■ 消化器病センター
■ 漢方医学センター

### C-2

■ 検査部
■ 手術部
■ 放射線部
■ 材料部
■ 輸血・細胞治療部
■ 集中治療部
■ 病理部
■ 光学医療診療部
■ 血液浄化療法部
■ リハビリテーション部
■ 栄養診療部
■ 臨床工学部
■ 外来化学療法部
■ 肝炎相談支援センター
■ 臓器移植センター
■ 口腔ケアセンター
■ 小児・AYAがんトータルケアセンター
■ 認知症センター
■ 緩和ケアセンター
■ 痛みセンター
■ 超音波センター

### C-3

■ 医療情報管理部
■ 臨床研修・キャリア支援部
- 初期研修センター
- 専門研修センター
- 看護・メディカルスタッフ研修センター
- 三重大学ブランチセンター
  - 地域連携学寄附研究部門
  - 東紀州地域医療学寄附研究部門
  - 地域連携心臓胸部画像診断学寄附研究部門
  - 南勢地域医療学寄附研究部門
- 地域医療支援センター

■ 医療安全管理部
■ 感染制御部
■ 臨床研究開発センター
■ がん支援センター
■ Aiセンター
■ 広報センター
■ CCUネットワーク支援センター
■ 災害対策推進・教育センター
■ 災害医療センター
■ 国際医療支援センター
■ 総合サポートセンター
■ チーム医療推進センター
■ バイオバンクセンター
■ 感染症危機管理センター
■ 脳卒中・心臓病等総合治療センター

## D 医学・病院管理部

**■ 総務課**
総務係／秘書広報係
企画評価係／人事係
職員係／病院研修室

**■ 経営管理課**
総括・管理係／医療消耗品係
病院経営企画係／予算第一係
予算第二係／施設係
研究支援室

**■ 学務課**
学務第一係
学務第二係
図書係

**■ 医事課**
医事係
診療管理係
医療情報管理係

**■ 医療支援課**
診療案内係
医療安全対策係
診療支援係
医療福祉係
収入係

（令和5年5月1日現在）

# 職員・学生について

## 役職員 | Faculty and Adminstrative Office |

（令和5年5月1日現在）

### 大学院医学系研究科・医学部

| | |
|---|---|
| 医学系研究科長（兼） | 堀 浩樹 |
| 教育研究評議会評議員（兼） | 野阪 哲哉 |
| 副研究科長（兼） | 髙尾 仁二 |
| 副研究科長（兼） | 成田 正明 |

| | |
|---|---|
| 医学部長（兼） | 堀 浩樹 |
| 看護学専攻長（兼） | 桝屋 正浩 |
| 看護学科長（兼） | 桝屋 正浩 |

### 大学院医学系研究科

#### 基礎医学系講座（教育研究分野）

| | | |
|---|---|---|
| 組織学・細胞生物学 | 教授 | 後藤 英仁 |
| 発生再生医学 | 教授 | 成田 正明 |
| 生化学 | 教授 | 竹本 研 |
| 幹細胞発生学 | 教授 | 山崎 英俊 |
| 分子生理学 | 教授 | 坂東 泰子 |
| 修復再生病理学 | 教授 | 今中 恭子 |
| 腫瘍病理学 | 教授 | 渡邉 昌俊 |
| 統合薬理学 | 教授 | 西村 有平 |
| 分子病態学 | 教授 | 島岡 要 |
| 感染症制御医学・分子遺伝学 | 教授 | 野阪 哲哉 |

| | | |
|---|---|---|
| 免疫学 | 教授 | ガバザ・エステバン |
| 医動物・感染医学 | 教授 | 油田 正夫 |
| 環境分子医学 | 教授 | 村田 真理子 |
| 公衆衛生・産業医学 | 教授 | （小谷 泰一） |
| 法医法科学 | 教授 | 小谷 泰一 |
| 医学医療教育学 | 教授 | 堀 浩樹 |
| 免疫制御学 | 連携教授 | 保富 康宏 |
| 動物機能ゲノミクス | 准教授 | （鈴木 昇） |
| 遺伝子病態制御学 | | |
| 細胞生物学・再生医療学 | 連携教授 | 梅澤 明弘 |

#### 臨床医学系講座

| | | |
|---|---|---|
| 循環器・腎臓内科学 | 教授 | 土肥 薫 |
| 血液・腫瘍内科学 | 教授 | 俵 功 |
| 消化器内科学 | 教授 | 中川 勇人 |
| 呼吸器内科学 | 教授 | 小林 哲 |
| 代謝内分泌内科学 | 教授 | 小林 哲 |
| 神経病態内科学 | 教授 | 新堂 晃大 |
| リウマチ膠原病内科学 | 教授 | 中島 亜矢子 |
| 家庭医療学 | 教授 | （堀 浩樹） |
| 精神神経科学 | 教授 | 岡田 元宏 |
| 小児科学 | 教授 | 平山 雅浩 |
| 皮膚科学 | 教授 | 山中 恵一 |
| 放射線医学 | 教授 | 佐久間 肇 |
| 肝胆膵・移植外科学 | 教授 | 水野 修吾 |
| 消化管・小児外科学 | 教授 | 問山 裕二 |
| 胸部心臓血管外科学 | 教授 | 髙尾 仁二 |
| 乳腺外科学 | 教授 | 小川 朋子 |
| 産科婦人科学 | 教授 | 池田 智明 |
| 脳神経外科学 | 教授 | 鈴木 秀謙 |
| 運動器外科学・腫瘍集学治療学 | 教授 | 須藤 啓広 |

| | | |
|---|---|---|
| 腎泌尿器外科学 | 教授 | 井上 貴博 |
| 眼科学 | 教授 | 近藤 峰生 |
| 耳鼻咽喉・頭頸部外科学 | 教授 | 竹内 万彦 |
| 口腔・顎顔面外科学 | 教授 | 新井 直也 |
| 形成外科学 | 教授 | 成島 三長 |
| 麻酔科学 | 教授 | 賀来 隆治 |
| 救急災害医学 | 教授 | （土肥 薫） |
| リハビリテーション医学 | 教授 | 百崎 良 |
| 臨床薬剤学 | 教授 | 岩本 卓也 |
| 臨床検査医学 | 教授 | 田辺 正樹 |
| ゲノム医療学 | 教授 | 奥川 喜永 |
| 総合診療医学 | 教授 | 山本 憲彦 |
| 病態解析内科学 | 連携教授 | 白木 克哉 |
| 〃 | 連携教授 | 和田 英夫 |
| 新生児学 | 連携教授 | 田中 滋己 |
| 成育医学 | 連携教授 | 谷口 清州 |
| 健康増進・予防医療学 | 教授 | 小林 由直 |
| 〃 | 教授 | 谷井 久志 |
| 臨床がんゲノム学 | 連携教授 | 宮城 洋平 |
| 臨床形態異常学 | 連携教授 | 黒澤 健司 |

#### 産学官連携講座

| | | |
|---|---|---|
| 臨床創薬研究学講座 | 教授 | （近藤 峰生） |
| システムズ薬理学講座 | 教授 | （井上 貴博） |
| 個別化がん免疫治療学講座 | 教授 | 藤原 弘 |

| | | |
|---|---|---|
| 個別化がん免疫治療学講座 | 教授 | 宮原 慶裕 |
| 〃 | （特任教員・特任教授） | 谷 一寿 |

#### 寄附講座

| | | |
|---|---|---|
| 認知症医療学講座 | 准教授 | （新堂 晃大） |
| 先進医療外科学講座 | 教授 | （問山 裕二） |
| スポーツ整形外科学講座 | 教授 | （須藤 啓広） |
| 先進画像診断学講座 | 教授 | 北川 覚也 |
| 先進がん治療学講座 | 教授 | 野本 由人 |
| 先進血液腫瘍学講座 | 教授 | 山口 素子 |
| 亀山地域医療学講座 | 教授 | （山本 憲彦） |
| 〃 | 教授 | 堀端 謙 |
| 名張地域医療学講座 | 教授 | （山本 憲彦） |
| 〃 | 教授 | 若林 英樹 |
| 三重県総合診療地域医療学講座 | 教授 | （山本 憲彦） |

| | | |
|---|---|---|
| 神経・筋病態学講座 | 教授 | 田中 稔久 |
| 脊髄末梢神経低侵襲外科学講座 | 教授 | 水野 正喜 |
| 脊椎集学治療学講座 | 教授 | （須藤 啓広） |
| 脊椎先端治療学講座 | 教授 | （須藤 啓広） |
| 地域血液内科講座 | 教授 | （俵 功） |
| 地域支援神経放射線診断学講座 | 教授 | 前田 正幸 |
| 地域連携血管内治療学講座 | 教授 | 加藤 憲幸 |
| 神経画像病態学講座 | 教授 | 伊井 裕一郎 |
| 上肢整形外科学講座 | 教授 | （須藤 啓広） |
| 個別化骨髄リンパ系腫瘍制御学講座 | 教授 | 渡辺 隆 |

### 看護学科専攻

| | | |
|---|---|---|
| 基盤看護学 | 教授 | 林 智子 |
| 〃 | 教授 | 福録 恵子 |
| 〃 | 教授 | 桝屋 正浩 |
| 実践看護学 | 教授 | 角甲 純 |
| 〃 | 教授 | 竹内 佐智恵 |
| 〃 | 教授 | 安積 陽子 |

| | | |
|---|---|---|
| 実践看護学 | 教授 | 松岡 真里 |
| 〃 | 教授 | 磯和 勅子 |
| 広域看護学 | 教授 | 片岡 三佳 |
| 〃 | 教授 | 谷村 晋 |
| 看護学科附属病院連携推進室 | 教授 | 江藤 由美 |

### 医学部附属病院

| | |
|---|---|
| 病院長（兼） | 池田 智明 |
| 副病院長（兼） | 佐久間 肇 |
| 副病院長（兼） | 平山 雅浩 |
| 副病院長（兼） | 水野 修吾 |
| 副病院長（兼） | 鈴木 秀謙 |

| | |
|---|---|
| 副病院長（兼） | 福永 稚子 |
| 副病院長（兼） | 兼児 敏浩 |
| 副病院長（兼） | 土肥 薫 |
| 副病院長（兼） | 渡邉 昌俊 |

#### 診療部門

| | |
|---|---|
| 総合診療科長（兼） | 山本 憲彦 |
| 循環器内科長（兼） | 土肥 薫 |
| 血液内科長（兼） | 俵 功 |
| 消化器・肝臓内科長（兼） | 中川 勇人 |
| 脳神経内科長（兼） | 新堂 晃大 |
| 呼吸器内科長（兼） | 小林 哲 |
| 腫瘍内科長（兼） | 水野 聡朗 |
| 腎臓内科長（兼） | 村田 智博 |
| 糖尿病・内分泌内科長（兼） | 矢野 裕 |
| 感染症内科長（兼） | 鈴木 圭 |
| 一般外科長（兼） | 水野 修吾 |

| | |
|---|---|
| 消化管外科長（兼） | 問山 裕二 |
| 肝胆膵・移植外科長（兼） | 水野 修吾 |
| 心臓血管外科長（兼） | 庄村 遊 |
| 呼吸器外科長（兼） | 髙尾 仁二 |
| 乳腺外科長（兼） | 小川 朋子 |
| 小児外科長（兼） | 小池 勇樹 |
| 整形外科長（兼） | 須藤 啓広 |
| 産科婦人科長（兼） | 池田 智明 |
| 小児科長（兼） | 平山 雅浩 |
| 精神科神経科長（兼） | 岡田 元宏 |
| 皮膚科長（兼） | 山中 恵一 |

| | |
|---|---|
| 腎泌尿器外科長（兼） | 井上 貴博 |
| 眼科長（兼） | 近藤 峰生 |
| 耳鼻咽喉・頭頸部外科長（兼） | 竹内 万彦 |
| 脳神経外科長（兼） | 鈴木 秀謙 |
| 形成外科長（兼） | 成島 三長 |
| 放射線科長（兼） | 佐久間 肇 |
| 病理診断科長（兼） | 渡邉 昌俊 |
| ゲノム診療科長（兼） | 奥川 喜永 |
| 麻酔科長（兼） | 賀来 隆治 |
| 緩和ケア科長（兼） | 賀来 隆治 |
| 救急科長（兼） | 池田 智明 |
| 歯科口腔外科長（兼） | 新井 直也 |

| | |
|---|---|
| リハビリテーション科長（兼） | 百崎 良 |
| 総合診療部長（兼） | 山本 憲彦 |
| ゲノム医療部長（兼） | 奥川 喜永 |
| 救命救急・総合集中治療センター長（兼） | 池田 智明 |
| 周産母子センター長（兼） | 平山 雅浩 |
| 乳腺センター長（兼） | 小川 朋子 |
| 血管ハートセンター長（兼） | 土肥 薫 |
| 高度生殖医療センター長（兼） | 池田 智明 |
| リウマチ・膠原病センター長（兼） | 中島 亜矢子 |
| 消化器病センター長（兼） | 水野 修吾 |
| 漢方医学センター長（兼） | 髙村 光幸 |

## 中央部門

| | |
|---|---|
| 検査部長（兼） | 田辺 正樹 |
| 手術部長（兼） | 問山 裕二 |
| 放射線部長（兼） | 佐久間 肇 |
| 材料部長（兼） | 井上 貴博 |
| 輸血・細胞治療部長（兼） | 大石 晃嗣 |
| 集中治療部長（兼） | 賀来 隆治 |
| 病理部長（兼） | 渡邉 昌俊 |
| 光学医療診療部長（兼） | 中川 勇人 |
| 血液浄化療法部長（兼） | 片山 鑑 |
| リハビリテーション部長（兼） | 百崎 良 |
| 栄養診療部長（兼） | 兼児 敏浩 |

| | |
|---|---|
| 臨床工学部長（兼） | 竹内 万彦 |
| 外来化学療法部長（兼） | 齋藤 佳菜子 |
| 肝炎相談支援センター長（兼） | 中川 勇人 |
| 臓器移植センター長（兼） | 水野 修吾 |
| 口腔ケアセンター長（兼） | 新井 直也 |
| 小児・AYAがんトータルケアセンター長（兼） | 岩本 彰太郎 |
| 認知症センター長（兼） | 池田 智明 |
| 緩和ケアセンター長（兼） | 松原 貴子 |
| 痛みセンター長（兼） | 松﨑 孝 |
| 超音波センター長（兼） | 土肥 薫 |

## 支援部門

| | |
|---|---|
| 医療情報管理部長（兼） | 佐久間 肇 |
| 臨床研修・キャリア支援部長（兼） | 水野 修吾 |
| 医療安全管理部長（兼） | 兼児 敏浩 |
| 感染制御部長（兼） | 田辺 正樹 |
| 臨床研究開発センター長（兼） | 田丸 智巳 |
| がん支援センター長（兼） | 水野 聡朗 |
| Aiセンター長（兼） | 兼児 敏浩 |
| 広報センター長（兼） | 奥川 喜永 |
| CCUネットワーク支援センター長（兼） | 土肥 薫 |

| | |
|---|---|
| 災害対策推進・教育センター長（兼） | 岸和田 昌之 |
| 災害医療センター長（兼） | 金子 唯 |
| 国際医療支援センター長（兼） | 成島 三長 |
| 総合サポートセンター長（兼） | 福永 稚子 |
| チーム医療推進センター長（兼） | 兼児 敏浩 |
| バイオバンクセンター長（兼） | 渡邉 昌俊 |
| 感染症危機管理センター長（兼） | 佐久間 肇 |
| 超音波センター長（兼） | 土肥 薫 |
| 脳卒中・心臓病等総合支援センター長（兼） | 土肥 薫 |

## 薬剤部

| | |
|---|---|
| 薬剤部長 | 岩本 卓也 |

## 看護部

| | |
|---|---|
| 看護部長 | 福永 稚子 |

## 総合がん治療センター

| | |
|---|---|
| 総合がん治療センター長（兼） | 池田 智明 |

## 医学・病院管理部

| | |
|---|---|
| 管理部長 | 伊藤 敦士 |
| 総務課長 | 粟生 泰幸 |
| 総務課副課長 | 小島 佑介 |
| 〃 | 紀平 敬志 |
| 経営管理課長 | 丹羽 章 |
| 経営管理課副課長 | 山下 城 |
| 〃 | 林 俊夫 |

| | |
|---|---|
| 経営管理課副課長 | 阪井 栄紀 |
| 学務課長 | 福場 博文 |
| 医事課長 | 寺前 利治 |
| 医事課副課長 | 世古 浩之 |
| 医療支援課長 | 柘植 智司 |
| 医療支援課副課長 | 福田 雄一 |





## 職員現員 | Regular Numbers of Staff |

（令和5年5月1日現在）

| 区分 | | 大学院医学系研究科 生命医科学専攻（休職者及び育児休業者を含む） | （休職者及び育児休業者） | 看護学専攻（休職者及び育児休業者を含む） | （休職者及び育児休業者） | 寄附講座等（休職者及び育児休業者を含む） | （休職者及び育児休業者） | 医学部 寄附講座等（休職者及び育児休業者を含む） | （休職者及び育児休業者） | 附属病院（休職者及び育児休業者を含む） | （休職者及び育児休業者） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 大学教員 | 教　授 | 36 | (0) | 10 | (0) | 7 | (0) | 8 | (0) | 11 | (0) |
| | 准教授 | 26 | (0) | 7 | (0) | 1 | (0) | 0 | (0) | 22 | (0) |
| | 講　師 | 12 | (0) | 2 | (0) | 2 | (0) | 1 | (0) | 45 | (0) |
| | 助　教 | 28 | (0) | 9 | (0) | 7 | (0) | 17 | (0) | 148 | (5) |
| | 計 | 102 | (0) | 28 | (0) | 17 | (0) | 26 | (0) | 226 | (5) |
| | | 173(0) | | | | | | | | | |
| 医療技術職員 | | | | | | | | | | 213 | (6) |
| 看護職員 | | | | | | | | | | 657 | (31) |
| その他職員 | | 6(0) | | | | | | | | 128 | (6) |
| 合計 | | 179(0) | | | | | | | | 1,224 | (48) |

## 歴代研究科長等 | Chronological Lists Deans and Directors |

（令和5年5月1日現在）

### [ 研究科長 ]

| | |
|---|---|
| 鎮西 康雄 | 平17.4.1～平18.2.9 |
| 駒田 美弘 | 平18.2.10～平22.3.31 |
| 登 勉 | 平22.4.1～平25.3.31 |
| 緒方 正人 | 平25.4.1～平29.3.31 |
| 片山 直之 | 平29.4.1～令2.3.31 |
| 須藤 啓広 | 令2.4.1～令4.3.31 |
| 堀 浩樹 | 令4.4.1～ |

### [ 医学部長 ]

| | |
|---|---|
| 三上 美樹　（事務取扱） | 昭47.5.1～昭48.3.31 |
| | 昭48.4.1～昭49.2.9 |
| 武田 進 | 昭49.3.10～昭53.3.9 |
| 井澤 道 | 昭53.3.10～昭55.2.9 |
| 武田 進 | 昭55.2.10～昭59.2.9 |
| 横山 實 | 昭59.2.10～昭61.2.9 |
| 伊豆津 公作 | 昭61.2.10～昭63.2.9 |
| 杉山 陽一 | 昭63.2.10～平3.3.31 |
| 水本 龍二 | 平3.4.1～平6.3.31 |
| 矢谷 隆一 | 平6.4.1～平10.2.9 |
| 珠玖 洋 | 平10.2.10～平14.2.9 |
| 鎮西 康雄 | 平14.2.10～平18.2.9 |
| 駒田 美弘 | 平18.2.10～平22.3.31 |
| 登 勉 | 平22.4.1～平25.3.31 |
| 緒方 正人 | 平25.4.1～平29.3.31 |
| 片山 直之 | 平29.4.1～令2.3.31 |
| 須藤 啓広 | 令2.4.1～令4.3.31 |
| 堀 浩樹 | 令4.4.1～ |

### [ 附属病院長 ]

| | |
|---|---|
| 井澤 道 | 昭48.10.1～昭52.9.30 |
| 宮地 一馬 | 昭52.10.1～昭56.9.30 |
| 三吉 康郎 | 昭56.10.1～昭60.3.31 |
| 竹澤 英郎 | 昭60.4.1～昭62.3.31 |
| 水本 龍二 | 昭62.4.1～平元.3.31 |
| 草川 實 | 平元.4.1～平5.3.31 |
| 鈴木 宏志 | 平5.4.1～平9.3.31 |
| 坂倉 康夫 | 平9.4.1～平11.3.31 |
| 川村 壽一 | 平11.4.1～平13.3.31 |
| 葛原 茂樹 | 平13.4.1～平17.3.31 |
| 内田 淳正 | 平17.4.1～平21.3.31 |
| 竹田 寛 | 平21.4.1～平25.9.30 |
| 伊藤 正明 | 平25.10.1～令元.9.30 |
| 伊佐地 秀司 | 令元.10.1～令4.3.31 |
| 池田 智明 | 令4.4.1～ |

### [ 附属動物実験施設長 ]

| | |
|---|---|
| 塩見 俊朗 | 昭54.6.16～昭60.3.31 |
| 坂本 弘 | 昭60.4.1～平4.3.31 |
| 野坂 昭一郎 | 平4.4.1～平8.3.31 |
| 鎮西 康雄 | 平8.4.1～平12.3.31 |
| 栗林 景容 | 平12.4.1～平15.3.31 |

# 学 生 | Students |

## 医学部

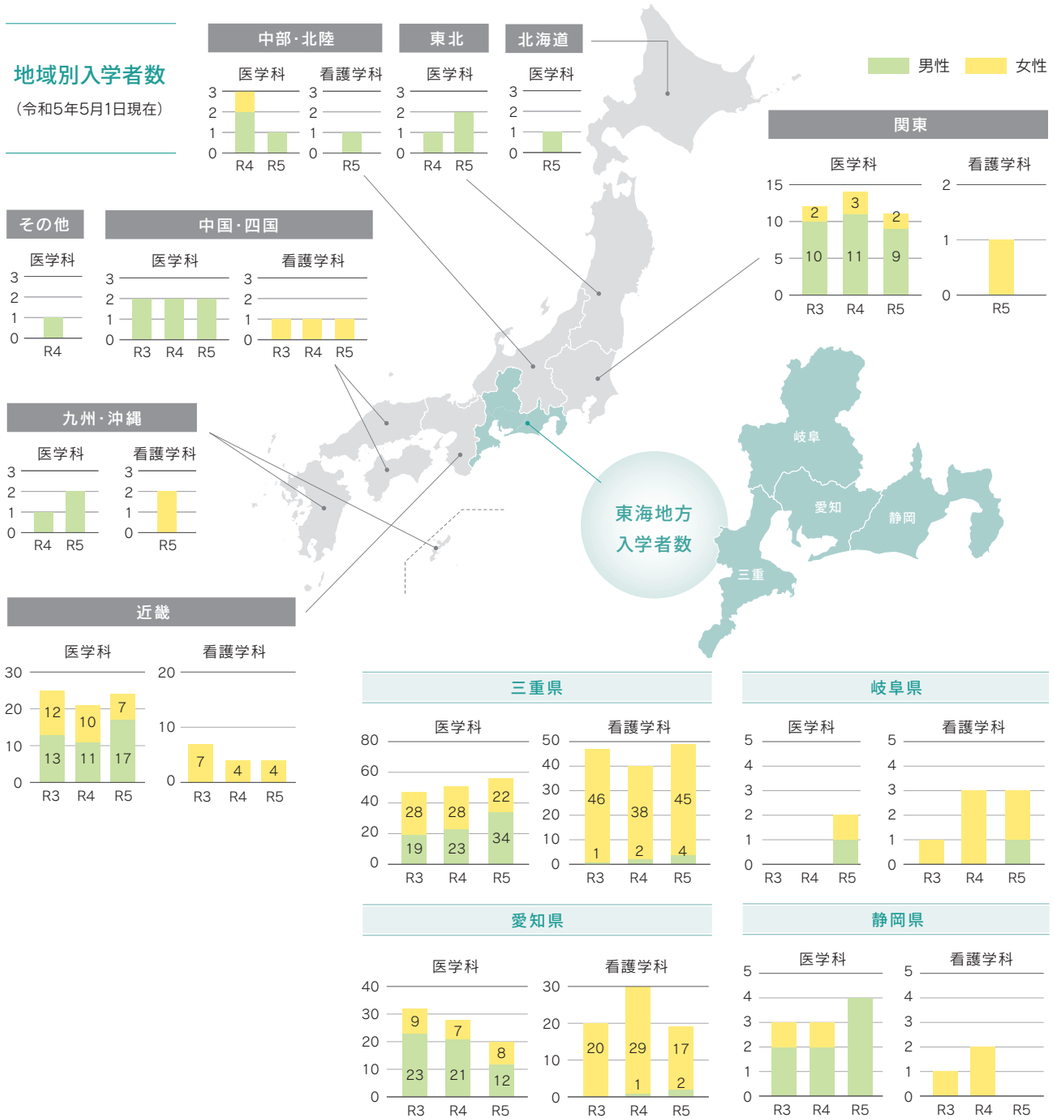
### [ 入学定員及び現員 ]

（令和5年5月1日現在）

| 学科名 | 区分 | 1年次 | | 2年次 | | 3年次 | | 4年次 | | 5年次 | | 6年次 | | 合計 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 |
| 医学科 | 入学定員 | 125 | | 125 | | 125 | | 125 | | 125 | | 125 | | 750 | |
| | 現員 | 85 | 40 | 78 | 50 | 73 | 52 | 87 | 45 | 75 | 46 | 99 | 36 | 497 | 269 |
| 看護学科 | 入学定員 | 80 | | 80 | | 90（3年次編入10名含む） | | 90（3年次編入10名含む） | | | | | | 340 | |
| | 現員 | 7 | 73 | 3 | 79 | 2 | 75 | 5 | 74 | | | | | 17 | 301 |

### 地域別入学者数

（令和5年5月1日現在）




### [ 卒業者数 ]

（令和5年5月1日現在）

| 学科名 | 昭和51年度～平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31/令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 医学科 | 3,837 | 118 | 126 | 122 | 127 | 119 | 129 | 127 | 113 | 126 | 4,944 |

内訳
- 三重県立医学専門学校……277名
- 三重県立医科大学……161名
- 三重県立大学医学部……930名
- 三重大学医学部医学科……4,944名

（令和5年5月1日現在）

| 学科名 | 平成13年度～平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31/令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 看護学科 | 1,150 | 87 | 79 | 81 | 79 | 77 | 77 | 82 | 82 | 77 | 1,871 |

内訳
- 三重大学医療技術短期大学部……715名
- 三重大学医学部看護学科……1,871名

## 大学院 医学系研究科

### [ 入学定員及び現員 ]

（令和5年5月1日現在）

| 区分 | | 収容定員 | | 現員 | | | | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 入学定員 | 総定員 | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | |
| 修士・博士前期課程 | 医科学 | 12 | 24 | 6 | 8 | | | 14 |
| | 看護学 | 11 | 22 | 4〈2〉 | 21〈13〉 | | | 25〈15〉 |
| 博士後期課程 | 看護学 | 3 | 9 | 2 | 3 | 14 | | 19 |
| 博士課程 | 生命医科学 | 45 | 180 | 38（30） | 45（35） | 53（44） | 67（51） | 203（160） |
| 合計 | | 71 | 235 | 50（30）〈2〉 | 77（35）〈13〉 | 67（44） | 67（51） | 261（160）〈15〉 |

（　）内は、昼夜開講制による学生を内数で示す／〈　〉内は、社会人特別選抜による学生を内数で示す

### [ 学位（博士（医学））授与数 ]

（令和5年5月1日現在）

| 旧制学位 | 新制学位 | | 合計 |
|---|---|---|---|
| 三重県立医科大学 | 博士課程 | 論文博士 | |
| 333 | 1,579 | 1,116 | 3,028 |

# 大学院医学系研究科・医学部について

## 図書及び雑誌 | Books and Journals

（令和5年3月31日現在）

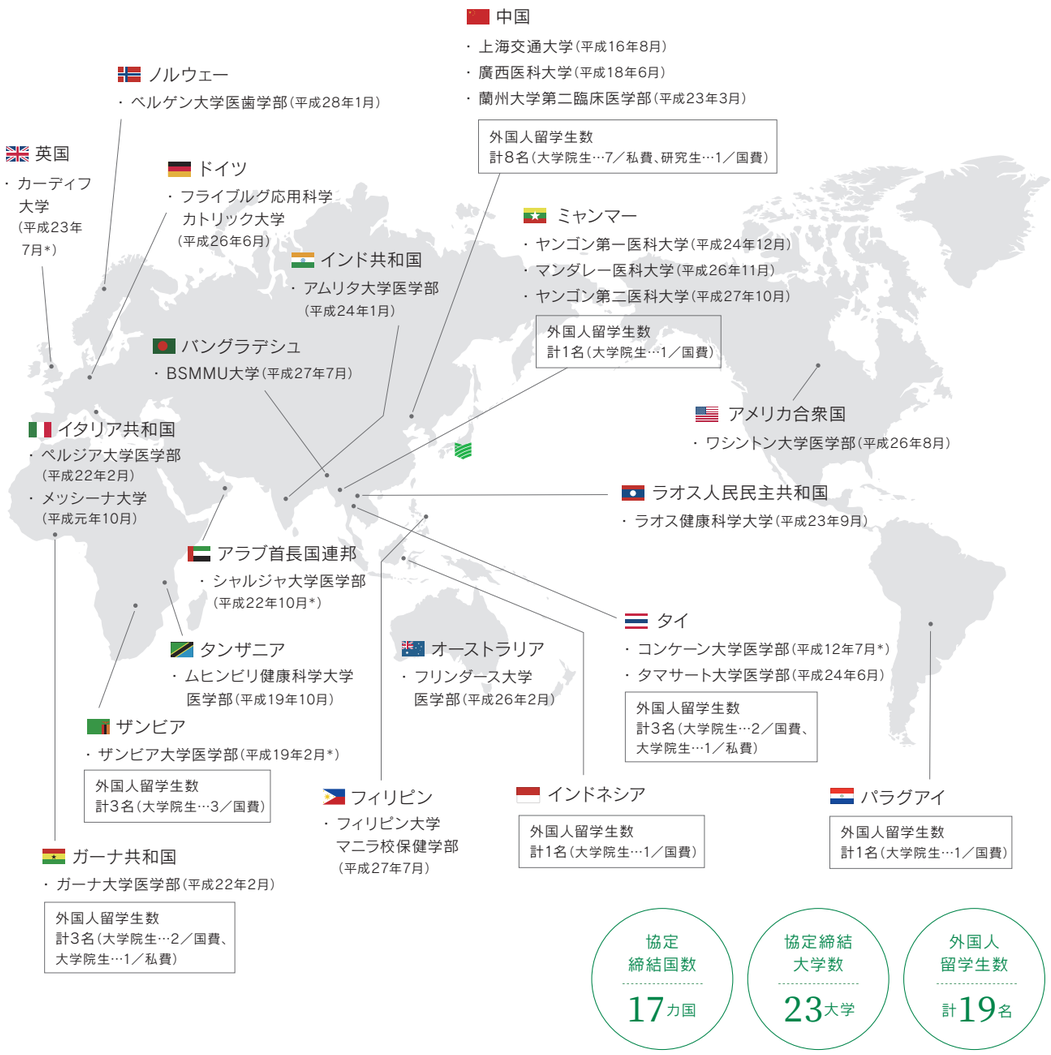
| 区分 | 単行図書（冊） | 製本雑誌（冊） | 合計（冊） |
|---|---|---|---|
| 和書 | 21,419 | 12,039 | 33,458 |
| 洋書 | 2,256 | 22,661 | 24,917 |
| 計 | 23,675 | 34,700 | 58,375 |

| 区分 | 総種類数（種） | 継続購入種類数（種） |
|---|---|---|
| 国内雑誌 | 622 | 90 |
| 外国雑誌 | 1,114 | 237 |
| 計 | 1,736 | 327 |

## 国際交流 | International Exchange

国際交流協定締結大学等（令和5年3月31日現在）　外国人留学生数（令和5年5月1日現在）

（日付は協定締結年月日／＊は大学間協定）




協定締結国数 17カ国

協定締結大学数 23大学

外国人留学生数 計19名

## 解剖体数 | Number of Autopsies

［ 系統解剖 ］　（令和5年3月31日現在）

| 区分 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 解剖体数 | 31 | 31 | 31 | 31 | 31 | 33 | 33 | 32 | 32 | 43 | 328 |
| 収集体数 | 49 | 65 | 42 | 47 | 47 | 49 | 39 | 21 | 36 | 30 | 425 |

［ 病理解剖 ］

| 区分 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 解剖体数 | 20 | 19 | 16 | 18 | 12 | 23 | 11 | 12 | 18 | 27 | 176 |

## 科学研究費助成事業採択状況 | Grants-in-Aid for Scientific Research

（令和4年度実績）

| 研究種目 | | 件数 | 金額（千円） | 計（件数） | 計（金額／千円） |
|---|---|---|---|---|---|
| 新学術領域研究 | 医学部 | 1 | 3,600 | 1 | 3,600 |
| | 附属病院 | 0 | 0 | | |
| 基盤研究（A） | 医学部 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 附属病院 | 0 | 0 | | |
| 基盤研究（B） | 医学部 | 11 | 45,300 | 12 | 49,300 |
| | 附属病院 | 1 | 4,000 | | |
| 基盤研究（C） | 医学部 | 88 | 84,900 | 137 | 133,800 |
| | 附属病院 | 49 | 48,900 | | |
| 挑戦的研究（萌芽） | 医学部 | 3 | 5,600 | 4 | 7,800 |
| | 附属病院 | 1 | 2,200 | | |
| 若手研究（若手研究（B）含む） | 医学部 | 18 | 13,900 | 52 | 46,450 |
| | 附属病院 | 34 | 32,550 | | |
| 研究活動スタート支援 | 医学部 | 1 | 1,200 | 2 | 1,700 |
| | 附属病院 | 1 | 500 | | |
| 研究成果公開促進費 | 医学部 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 附属病院 | 0 | 0 | | |
| 特別研究員奨励費 | 医学部 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 附属病院 | 0 | 0 | | |
| 奨励研究 | 医学部 | 0 | 0 | 1 | 310 |
| | 附属病院 | 1 | 310 | | |
| 国際共同研究強化（A） | 医学部 | 1 | 10,900 | 2 | 10,900 |
| | 附属病院 | 1 | 0 | | |
| 国際共同研究強化（B） | 医学部 | 2 | 7,300 | 3 | 10,800 |
| | 附属病院 | 1 | 3,500 | | |
| 直接経費のみ　計 | 医学部 | 125 | 172,700 | 214 | 264,660 |
| | 附属病院 | 89 | 91,960 | | |

## 外部資金受入状況 | Orijin and Division of Off-campus Funds

（令和4年度実績）

| 区分 | | 件数 | 金額（千円） | 計（件） | 計（金額／千円） |
|---|---|---|---|---|---|
| 奨学寄附金 | 医学部 | 880 | 621,573 | 930 | 651,021 |
| | 附属病院 | 50 | 29,448 | | |
| 受託研究 | 医学部 | 42 | 427,859 | 93 | 510,833 |
| | 附属病院 | 51 | 82,974 | | |
| 共同研究 | 医学部 | 43 | 155,424 | 51 | 160,821 |
| | 附属病院 | 8 | 5,397 | | |
| 受託事業 | 医学部 | 3 | 9,249 | 8 | 61,753 |
| | 附属病院 | 5 | 52,504 | | |
| 計 | 医学部 | 968 | 1,214,105 | 1,082 | 1,384,428 |
| | 附属病院 | 114 | 170,323 | | |

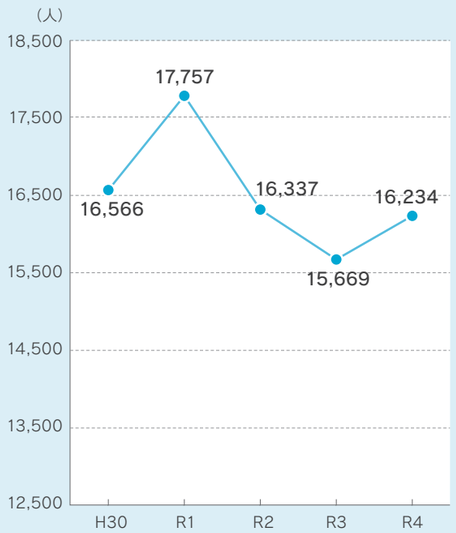
# 医学部附属病院について

## 病院実績 | Performance |

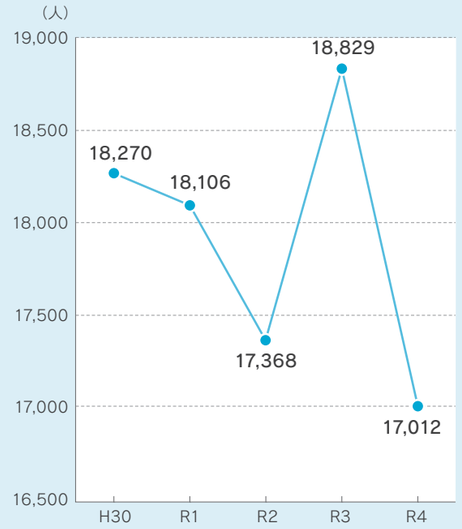
[ 685床（うち精神科神経科30床） ]

重要経営指標である新入院患者数・手術件数等は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり
令和2～3年度は減少傾向にあったが、令和4年度は回復傾向にあり、コロナ禍においても急性期病院としての役割を果たしています。

### 新患者数（入院）

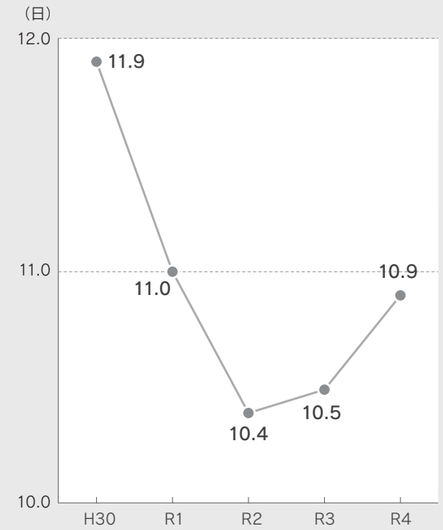



### 新患者数（外来）

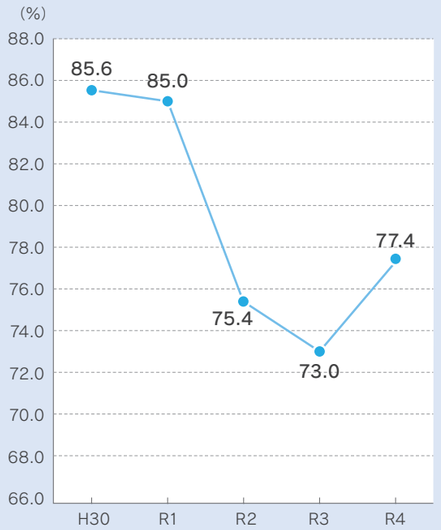



### 稼働額（入院・外来）

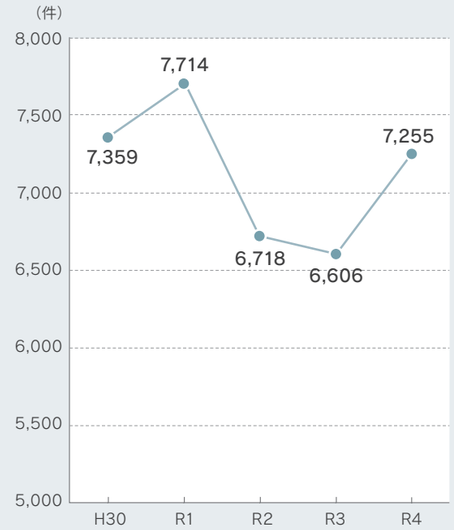
### 平均在院日数（一般病棟）



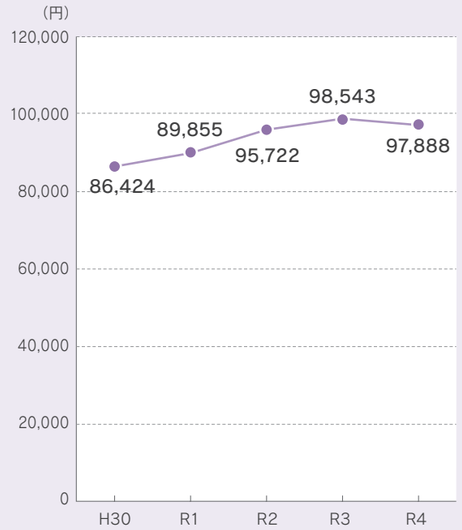

### 病床稼働率（一般病棟）




### 手術件数




### 診療単価（入院）




### 診療単価（外来）

## 診療等実績 | Performance |

### [ 臨床検査件数（中央検査部、輸血部・細胞治療部、病理部） ]

（令和4年度実績）

| 区分 | 入院（件） | 外来（件） | 計（件） |
|---|---|---|---|
| 一般検査 | 27,960 | 127,115 | 155,075 |
| 血液学的検査 | 238,583 | 348,667 | 587,250 |
| 生化学的検査 | 1,105,148 | 2,148,606 | 3,253,754 |
| 免疫学的検査 | 78,513 | 180,424 | 258,937 |
| 微生物学的検査 | 38,153 | 13,234 | 51,387 |
| 病理学的検査 | 12,075 | 13,293 | 25,368 |
| 輸血検査 | 13,718 | 16,710 | 30,428 |
| 生理機能検査 | 10,340 | 29,805 | 40,145 |
| 採血・採液等 | 70,010 | 81,538 | 151,548 |
| 計 | **1,594,500** | **2,959,392** | **4,553,892** |

### [ X線撮影、透視、CT及びMRI検査人数 ]

（令和4年度実績）

| 区分 | | 入院（件） | 外来（件） | 計（件） |
|---|---|---|---|---|
| 一般撮影（単純） | | 29,144 | 35,236 | 64,380 |
| 一般撮影（造影） | | 942 | 587 | 1,529 |
| X線CT検査 | | 8,592 | 19,388 | 27,980 |
| MRI検査 | | 2,743 | 9,498 | 12,241 |
| PET-CT | | 188 | 882 | 1,070 |
| 放射線治療 | 体外照射 | 7,852 | 9,732 | 17,584 |
| | 腔内照射 | 151 | 0 | 151 |
| 計 | | **49,612** | **75,323** | **124,935** |

### [ 処方枚数、件数及び薬剤数 ]

（令和4年度実績）

| 区分 | | 枚数（枚） | 件数（件） | 薬剤数（剤） |
|---|---|---|---|---|
| 入院 | | 125,724 | 248,070 | 1,517,011 |
| 外来 | 院内 | 3,998 | 10,512 | 134,550 |
| | 院外 | 169,156 | | |
| 計 | | **298,878** | **258,582** | **1,651,561** |

### [ 分娩数 ]

（令和4年度実績）

| | 成熟児 | 未熟児 | 計 |
|---|---|---|---|
| 正常分娩 | 234 | 43 | 277 |
| 異常分娩 | 322 | 47 | 369 |
| 計 | **556** | **90** | **646** |

### [ リハビリテーション患者数及び件数 ]

（令和4年度実績）

| 区分 | 実患者数（人） | 療法件数（件） |
|---|---|---|
| 理学療法 | 26,513 | 33,188 |
| 作業療法 | 1,014 | 653 |
| 言語聴覚療法 | 8,247 | 18,490 |

### [ 患者給食等 ]

（令和4年度実績）

| 区分 | 食数・件数（件） |
|---|---|
| 一般治療食（一般食） | 247,434 |
| 特別治療食（特別食） | 182,487 |
| 個別栄養食事指導（入院） | 1,072 |
| 個別栄養食事指導（外来） | 2,550 |
| 集団栄養食事指導（外来） | 21 |
| 栄養サポートチーム加算 | 341 |
| 早期栄養介入管理加算 | 573 |
| 早期栄養介入管理加算（入室早期から経腸栄養を開始） | 210 |
| 入院栄養管理体制加算 | 3,092 |

### [ 病理学的検査件数 ]

（令和4年度実績）

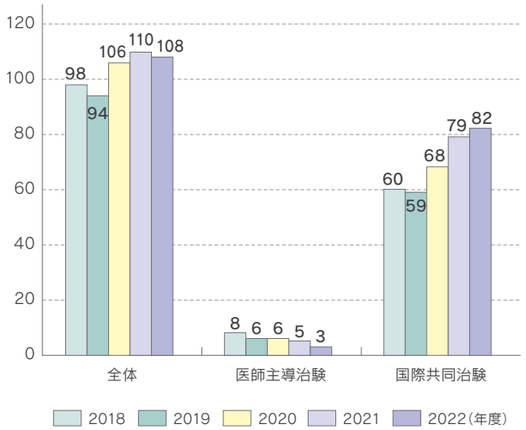
| 区分 | 件数（件） |
|---|---|
| 術中迅速組織診（N003） | 653 |
| 組織診（N000） | 4,060 |
| 細胞診（N004） | 4,904 |

# 臨床研究開発センター　Clinical Research and Development Center

当院の研究開発センターは、地域の住民の皆様や医療機関との連携を通じて臨床研究や治験を積極的に推進する支援組織であるとともにリサーチマインドを有する医療人の育成になくてはならない部門です。
製薬企業主導の医薬品（医療機器）の治験、医師主導型治験、グローバル治験、臨床研究の実施支援や生物統計家による臨床統計のコンサルテーション、登録・データセンター等を行っています。
2007年に開始された厚生労働省「治験活性化5カ年計画」では治験拠点病院30施設の1つに採択されました。本院の臨床研究・治験を活性化するとともに医薬品等のシーズ開発の推進に取り組んでいます。

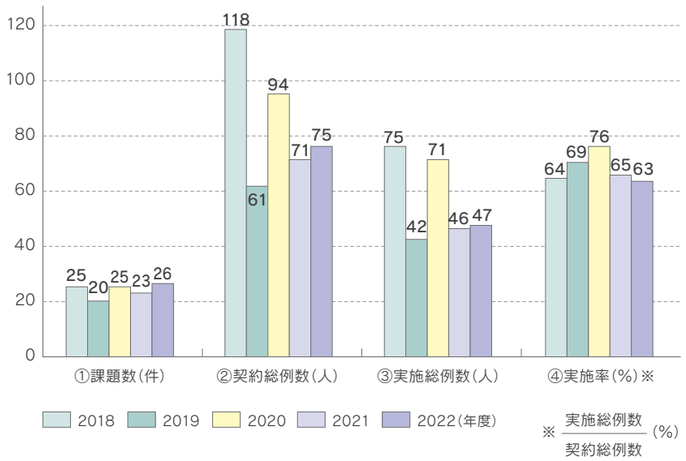
## 当院のオリジナル・シーズ開発とその支援

2012年度開始の「臨床研究・治験活性化5か年計画」では、メディカルイノベーション推進政策を踏まえ、大学の医薬品/医療機器シーズの臨床開発を促進するための支援体制整備を進めてきました。三重大学では、がんの新たな治療法として期待されている“がんワクチン/免疫細胞治療”の研究を積極的に進めており、2012年には開発型医師主導治験（CHP-NY-ESO-1）の実施支援をしております。その他、三重大学にある医薬品等のシーズの開発支援を行っています。




## 治験実施状況

終了した治験・製販後臨床試験の課題数・契約総例数・実施率の推移




## 医療機関等の指定状況等　Services related Medical Care Legislations and Dates of Approval

### 医療機関の承認等（令和5年5月1日現在）

| | |
|---|---|
| 昭和48. 10. 1 | 医療法による病院開設認可 |
| 〃 | 総合病院の名称使用承認 |
| 〃 | 健康保険法による保険医療機関 |
| 〃 | 国民健康保険法による保険医療機関 |
| 昭和57. 4.27 | 消防法による救急医療機関承認 |
| 昭和63. 3.29 | 臨床修練指定病院（外国医師・外国歯科医師） |
| 6. 1 | 健康保険法による特定承認保険医療機関 |
| 〃 | 国民健康保険法による特定承認保険医療機関 |
| 平成 6. 11. 1 | 特定機能病院の名称承認 |

### 医療機関の承認等（令和5年5月1日現在）

| | |
|---|---|
| 昭和48. 10. 1 | 生活保護法による医療 |
| 〃 | 結核予防法による医療 |
| 〃 | 労働者災害補償保険法による医療 |
| 〃 | 老人福祉法による医療 |
| 〃 | 母子保健法による医療（養育医療、三歳児精密検診） |
| 〃 | 児童福祉法による医療（育成医療） |
| 〃 | 精神保健法による医療 |
| 〃 | 身体障害者福祉法による医療（更正医療） |
| 〃 | 戦傷病者特別援護法による医療（更正医療） |
| 〃 | 特定疾患治療研究事業（スモン、ベーチェット病、重症筋無力症、全身性エリテマトーデス、多発性硬化症、再生不良性貧血） |
| 昭和48. 12. 7 | 船員法による医療 |
| 昭和49. 2. 5 | 原爆医療法による医療 |
| 4. 1 | 小児慢性特定疾患治療研究事業（悪性新生物、慢性腎疾患、ぜんそく、先天性代謝異常、血友病等血痕疾患） |
| 9. 1 | 公害健康被害補償法による医療 |
| 10. 1 | 特定疾患治療研究事業（サルコイドーシス、筋萎縮性側索硬化症、強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎、特発性血小板減少性紫斑病） |
| 〃 | 小児慢性特定疾患治療研究事業（慢性心疾患、内分泌疾患、膠原病、糖尿病） |
| 昭和50. 8. 1 | 地方公務員災害補償法による医療 |
| 〃 | 国家公務員災害補償法による医療 |
| 10. 1 | 特定疾患治療研究事業（結節性動脈周囲炎、潰瘍性大腸炎、大動脈炎症候群、ビュルガー病、天疱瘡） |
| 昭和51. 10. 1 | 特定疾患治療研究事業（脊髄小脳変性症、クローン病、難治性肝炎のうち劇症肝炎） |
| 昭和52. 10. 1 | 特定疾患治療研究事業（悪性関節リウマチ） |
| 昭和53. 10. 1 | 特定疾患治療研究事業（パーキンソン病） |
| 昭和54. 10. 1 | 特定疾患治療研究事業（アミロイドーシス） |
| 昭和55. 4. 1 | 母子保健法による医療（妊娠・乳児一般健診） |
| 12. 1 | 特定疾患治療研究事業（後縦靭帯骨化症） |
| 昭和56. 10. 1 | 特定疾患治療研究事業（ハンチントン病） |
| 昭和57. 10. 1 | 特定疾患治療研究事業（モヤモヤ病（ウイリス動脈輪閉塞症）） |
| 昭和59. 1. 1 | 特定疾患治療研究事業（ウェゲナー肉芽腫症） |
| 昭和60. 1. 1 | 特定疾患治療研究事業（特発性拡張型（うっ血型）心筋症） |
| 11. 7 | 労働者災害補償保険法による医療（アフターケア） |
| 昭和61. 1. 1 | 特定疾患治療研究事業（シャイ・ドレーガ症候群） |
| 昭和62. 1. 1 | 特定疾患治療研究事業（表皮水疱症（接合部型及び栄養障害型）） |
| 昭和63. 1. 1 | 特定疾患治療研究事業（膿癌性乾癬） |
| 昭和64. 1. 1 | 特定疾患治療研究事業（広範脊柱管狭窄症） |
| 平成 元. 10. 1 | 先天性血液凝固因子障害治療研究事業 |
| 平成 2. 1. 1 | 特定疾患治療研究事業（原発性胆汁性肝硬変） |
| 4. 1 | 小児慢性特定疾患治療研究事業（神経筋疾患） |
| 平成 3. 1. 1 | 特定疾患治療研究事業（重症急性膵炎） |

## 医療機関の承認等（令和5年5月1日現在）

| | |
|---|---|
| 平成 4. 1. 1 | 特定疾患治療研究事業（特発性大腿骨頭壊死症） |
| 平成 5. 1. 1 | 特定疾患治療研究事業（混合性結合組織病） |
| 平成 6. 1. 1 | 特定疾患治療研究事業（原発性免疫不全症候群） |
| 平成 7. 1. 1 | 特定疾患治療研究事業（特発性間質性肺炎） |
| 平成 8. 1. 1 | 特定疾患治療研究事業（網膜色素変性症） |
| 2.21 | エイズ治療拠点病院 |
| 平成 9. 1. 1 | 特定疾患治療研究事業（プリオン病） |
| 1. 6 | 地域災害拠点病院の指定 |
| 平成10. 1. 1 | 特定疾患治療研究事業（原発性肺高血圧症） |
| 4. 1 | 身体障害者福祉法による医療（更生医療）（ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害） |
| 5. 1 | 特定疾患治療研究事業（神経線維腫症Ⅰ型／神経線維腫症Ⅱ型） |
| 12. 1 | 特定疾患治療研究事業（亜急性硬化性全脳炎） |
| 〃 | 特定疾患治療研究事業（バット・キアリ（Budd-Chiarl）症候群） |
| 〃 | 特定疾患治療研究事業（特発性慢性肺血栓塞栓症（肺高血圧型）） |
| 平成11. 4. 1 | 特定疾患治療研究事業（ライソゾーム病） |
| 平成12. 4. 1 | 特定疾患治療研究事業（副腎白質ジストロフィー） |
| 10. 1 | 身体障害者福祉法による医療（更正医療）（小腸に関する医療） |
| 平成19. 1.31 | がん診療連携拠点病院の指定 |
| 平成20. 12.15 | 肝疾患診療連携拠点病院の指定 |
| 平成25. 2. 8 | 小児がん拠点病院の指定 |
| 平成30. 3.30 | 三重県アレルギー疾患医療拠点病院 |
| 令和 元. 9.19 | がんゲノム医療拠点病院 |
| 令和 2. 2.26 | 特定行為研修指定研修機関の指定 |

## 基本診療の施設基準（令和5年5月1日現在）

- 地域歯科診療支援病院歯科初診料
- 歯科外来診療環境体制加算
- 歯科診療特別対応連携加算
- 初診料、再診料、外来診療料
  注1情報通信機器を用いた診療
- 特定機能病院入院基本料
- 特定機能病院入院基本料
  注11入院栄養管理体制加算
- 救急医療管理加算
- 超急性期脳卒中加算
- 診療録管理体制加算1
- 医師事務作業補助体制加算2
- 急性期看護補助体制加算
- 看護職員夜間配置加算
- 看護補助加算1
- 療養環境加算
- 重症者等療養環境特別加算
- 無菌治療室管理加算1・2
- 放射線治療病室管理加算
  （密封小線源による治療の場合）
- 緩和ケア診療加算
- 精神科身体合併症管理加算
- 依存症入院医療管理加算
- 摂食障害入院医療管理加算
- 栄養サポートチーム加算
- 医療安全対策加算1
- 感染対策向上加算1
- 感染対策向上加算 注2指導強化加算
- 患者サポート体制充実加算
- 褥瘡ハイリスク患者ケア加算
- ハイリスク妊娠管理加算
- ハイリスク分娩管理加算
- 呼吸ケアチーム加算
- 術後疼痛管理チーム加算
- 病棟薬剤業務実施加算1・2
- データ提出加算2
- 入退院支援加算1
- せん妄ハイリスク患者ケア加算
- 精神疾患診療体制加算1・2
- 排尿自立支援加算
- 地域医療体制確保加算
- 救命救急入院料4
- 救命救急入院料
  注1算定上限日数に関する基準
- 救命救急入院料
  注4早期離床・リハビリテーション加算
- 救命救急入院料　注9早期栄養介入管理加算
- 特定集中治療室管理料1
- 特定集中治療室管理料
  注1算定上限日数に関する基準
- 特定集中治療室管理料
  注４早期離床・リハビリテーション加算
- ハイケアユニット入院医療管理料2
- ハイケアユニット入院医療管理料
  注3早期離床・リハビリテーション加算
- 新生児特定集中治療室管理料1
- 総合周産期特定集中治療室管理料
- 総合周産期特定集中治療室管理料
  注3成育連携支援加算
- 小児入院医療管理料2
- 小児入院医療管理料　注5無菌治療管理加算1及び2
- 小児入院医療管理料　注7養育支援体制加算
- 看護職員処遇改善評価料60

## 特掲診療料の施設基準（令和5年5月1日現在）

- 歯科疾患管理料の注11に規定する総合医療管理加算及び
  歯科治療時医療管理料
- 口腔細菌定量検査
- 歯科口腔リハビリテーション2
- 手術時歯根面レーザー応用加算
- 広範囲顎骨支持型装置埋入手術
- 手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術
- 歯周組織再生誘導手術
- 上顎・下顎骨形成術（歯科診療に係るものに限る）
- う蝕歯無痛的窩洞形成加算
- 歯科技工加算
- がん性疼痛緩和指導管理料
- がん患者指導管理料イ・ロ・ハ・ニ
- 外来緩和ケア管理料
- 移植後患者指導管理料
- 糖尿病透析予防指導管理料
- 乳腺炎重症化予防ケア・指導料
- 婦人科特定疾患治療管理料
- 腎代替療法指導管理料
- 心臓ペースメーカー指導管理料
- 高度難聴指導管理料
- 糖尿病合併症管理料
- 外来栄養食事指導料
- 外来腫瘍化学療法診療料1
- 外来腫瘍化学療法診療料 注6連携充実加算
- 外来放射線照射診療料
- 一般不妊治療管理料
- 生殖補助医療管理料1
- 下肢創傷処置管理料
- 開放型病院共同指導料
- ハイリスク妊婦連携指導料1・2
- こころの連携指導料（Ⅱ）
- ハイリスク妊産婦共同管理料（Ⅱ）
- がん治療連携計画策定料
- 認知症専門診断管理料
- 肝炎インターフェロン治療計画料
- 外来排尿自立指導料
- 薬剤管理指導料
- 地域連携診療計画加算
- 診療情報提供料（Ⅰ）電子的診療情報提供料
- 診療情報提供料（Ⅰ）検査・画像情報提供加算
- 医療機器安全管理料1・2
- 在宅血液透析指導管理料
- 在宅植込型補助人工心臓（非拍動龍型）
- 在宅腫瘍治療電場療法指導管理料
- 持続血糖測定器加算
- 骨髄微小残存病変量測定
- BRCA1/2遺伝子検査
- がんゲノムプロファイリング検査
- 遺伝学的検査
- 染色体検査 注2絨毛染色体検査
- 先天性代謝異常症検査
- 抗HLA抗体（スクリーニング検査）及び抗HLA抗体
  （抗体特異性同定検査）
- ウイルス・細菌核酸多項目同時検出
- ＨＰＶ核酸検出（簡易ジェノタイプ判定）
- ＨＰＶ核酸検出
- 検体検査管理加算（Ⅰ）（Ⅳ）
- 国際標準検査管理加算
- 遺伝性カウンセリング加算
- 遺伝性腫瘍カウンセリング加算
- 心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
- 時間内歩行試験
- シャトルウォーキングテスト
- 胎児心エコー法
- ヘッドアップティルト試験
- 皮下連続式グルコース測定
- 長期継続頭蓋内脳波検査
- 脳波検査判断料1
- 神経学的検査
- 補聴器適合検査
- 全視野精密網膜電図
- 黄斑局所網膜電図
- ロービジョン検査判断料
- コンタクトレンズ検査料1
- 内服・点滴誘発試験
- センチネルリンパ節生検
- 前立腺生検法（MRI撮影及び超音波検査融合画像によるもの）
- ＣＴ透視下気管支鏡検査加算
- 画像診断管理加算1，2，3
- ポジトロン断層撮影
- ポジトロン断層・コンピュータ断層複合撮影
- ＣＴ撮影及びＭＲＩ撮影
- 冠動脈ＣＴ撮影加算
- 外傷全身ＣＴ加算
- 血流予備量比コンピューター断層撮影
- 心臓ＭＲＩ撮影加算
- 乳房ＭＲＩ撮影加算
- 頭部ＭＲＩ撮影加算
- 肝エラストグラフィ加算
- 抗悪性腫瘍剤処方管理加算
- 外来化学療法加算1
- 無菌製剤処理料
- 心大血管疾患リハビリテーション料（Ⅰ）
- 脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅰ）
- 運動器リハビリテーション料（Ⅰ）
- 呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ）
- がん患者リハビリテーション料

## 特掲診療料の施設基準（令和5年5月1日現在）

- 認知療法・認知行動療法
- 精神科ショート・ケア及びデイ・ケア（小規模なもの）
- 抗精神病特定薬剤治療指導管理料
- 医療保護入院等診療料
- 硬膜外自家血注入
- エタノールの局所注入（甲状腺・副甲状腺）
- 人工腎臓（慢性維持透析を行った場合１）
- 透析液水質確保加算２
- 人工腎臓の導入期加算２（腎代替療法実績加算）
- 導入期加算３
- 難治性高コレステロール血症に伴う重度尿蛋白を呈する糖尿病性腎症に対するLDLアフェレシス療法
- 移植後抗体関連型拒絶反応治療における血漿交換療法
- 皮膚悪性腫瘍切除術（悪性黒色腫センチネルリンパ節加算）
- 皮膚移植術（死体）
- 組織拡張器による再建手術（乳房（再建手術）の場合に限る）【一次再建・二次再建】
- 四肢・躯幹軟部悪性腫瘍手術及び骨悪性腫瘍手術の注に掲げる処理骨再建加算
- 骨移植術（軟骨移植術を含む）（同種移植術（非生体）（同種骨移植術（特殊なものに限る））
- 骨移植術（軟骨移植術を含む）（自家培養軟骨移植術に限る）
- 後縦靭帯骨化症手術（前方進入によるもの）
- 椎間板内酵素注入療法
- 腫瘍脊椎骨全摘出術
- 脳刺激装置植込術（頭蓋内電極植込術を含む）及び脳刺激装置交換術
- 癒着性脊髄くも膜炎手術（脊髄くも膜剥離操作を行うもの）
- 脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
- 角結膜悪性腫瘍切除手術
- 角膜移植術（内皮移植加算）
- 羊膜移植術
- 緑内障手術（流出路再建術（眼内法））
- 緑内障手術（濾過胞再建術（needle法））
- 緑内障手術（緑内障治療用インプラント挿入術（プレートのあるもの））
- 緑内障手術（水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術）
- 網膜再建術
- 内喉頭筋内注入術（ボツリヌス毒素によるもの）
- 経外耳道的内視鏡下鼓室形成術
- 人工中耳植込術
- 人工内耳植込術、植込骨導補聴器移植術及び植込型骨導補助器交換術
- 内視鏡下鼻・副鼻腔手術Ⅴ（拡大副鼻腔手術）
- 経鼻内視鏡下鼻副鼻腔悪性腫瘍手術（頭蓋底郭清、再建を伴うもの）
- 鏡視下咽頭悪性腫瘍手術（軟口蓋悪性腫瘍手術を含む）
- 内視鏡的逆流防止粘膜切除術
- 鏡視下喉頭悪性腫瘍手術
- 頭頸部悪性腫瘍光線力学療法
- 乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術（MRIによるもの）
- 遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する乳房切除術
- 乳腺悪性腫瘍手術（乳頭乳輪温存乳房切除（腋窩郭清を伴わないもの）及び乳頭乳輪切除術（腋窩郭清を伴うもの））
- 乳がんセンチネルリンパ節加算1,2
- ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術
- 胸腔鏡下拡大胸腺摘出術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
- 胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
- 胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
- 肺悪性腫瘍手術（壁側・臓側胸膜全切除（横隔膜、心膜合併切除を伴うもの）に限る）
- 胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（内視鏡支援機器を用いる場合）（区域切除で内視鏡支援機器を用いる場合）
- 胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（肺葉切除又は1肺葉を超えるもの）
- 胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（気管支形成を伴う肺切除）
- 食道縫合術（穿孔、損傷）（内視鏡によるもの）、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、小腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、結腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、腎（腎盂）腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、尿管腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、膀胱腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、膣腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）
- 胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
- 経皮的冠動脈形成術（特殊カテーテルによるもの）
- 経カテーテル大動脈弁置換術（頚心尖大動脈弁置換術及び経皮的大動脈弁置換術）
- 胸腔鏡下弁置換術
- 胸腔鏡下弁形成術
- 経皮的僧帽弁クリップ術
- 経皮的中隔心筋焼灼術
- ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
- ペースメーカー移植術（リードレスペースメーカー）
- 両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術（経静脈電極の場合）
- 両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術（心筋電極の場合）
- 植込型除細動器移植術（経静脈リードを用いるもの又は皮下植込型リードを用いるもの）、植込型除細動器交換術（その他のもの）及び経静脈電極抜去術
- 植込型除細動器移植術及び植込型除細動器交換術（心筋リードを用いるもの）
- 両室ペーシング機能付埋込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付埋込型除細動器交換術（経静脈電極の場合）
- 両室ペーシング機能付埋込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付埋込型除細動器交換術（心筋電極の場合）
- 大動脈バルーンパンピング法（IABP法）
- 経皮的循環補助法（ポンプカテーテルを用いたもの）
- 補助人工心臓
- 腹腔鏡下リンパ節群郭清術（傍大動脈）
- 腹腔鏡下リンパ節群郭清術（側方）
- 腹腔鏡下胆嚢悪性腫瘍手術（胆嚢床切除を伴うもの）
- 内視鏡的小腸ポリープ切除



## 特掲診療料の施設基準（令和5年5月1日現在）

- 腹腔鏡下胃切除術（単純切除術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合））及び腹腔鏡下胃切除術（悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの））
- 腹腔鏡下噴門側胃術（単純切除術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合））及び腹腔鏡下噴門側胃切除術（悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの））
- 腹腔鏡下胃全摘術（単純全摘術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）及び腹腔鏡下胃全摘術（悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの））
- 胃瘻造設術（経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む）
- 副腎腫瘍ラジオ波焼灼療法
- 胆管悪性腫瘍手術（膵頭十二指腸切除及び肝切除（葉以上）を伴うもの）
- 腹腔鏡下肝切除術
- 腹腔鏡下肝切除術（亜区域切除、1区域切除（外側区域切除を除く）、2区域切除及び3区域切除以上のもの）
- 生体部分肝移植術
- 同種死体肝移植術
- 腹腔鏡下膵腫瘍摘出術
- 腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
- 腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術
- 腹腔鏡下膵頭部切除術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合を除く）
- 腹腔鏡下膵頭部腫瘍切除術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
- 早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
- 腹腔鏡下直腸切除・切断術（切断術、低位前方切除術及び切断術に限る）（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
- 腎腫瘍凝固・焼灼術（冷凍凝固によるもの）
- 腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）
- 腹腔鏡下腎盂形成手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
- 同種死体腎移植術
- 生体腎移植術
- 膀胱水圧拡張術
- 腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
- 人工尿道括約筋植込・置換術
- 膀胱頸部形成術（膀胱頸部吊上術以外）
- 埋没陰茎手術
- 精巣内精子採取術
- 腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器加算を用いるもの）
- 腹腔鏡下仙骨膣固定術（内視鏡手術用支援機器を用いた場合）
- 腹腔鏡下膣式子宮全摘術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
- 腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術（子宮体がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
- 腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術（子宮体がんに限る）
- 腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術（子宮頸がんに限る）
- 腹腔鏡下子宮瘢痕部修復術
- 遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する子宮附属器腫瘍摘出術
- 胎児胸腔・羊水腔シャント術
- 臍帯穿刺
- 体外式膜型人工肺管理料
- 輸血管理料（Ｉ）
- 貯血式自己血輸血管理体制加算
- 自己生体組織接着剤作成術
- 同種クリオプレシピテート作製術
- 人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
- 胃瘻造設時嚥下評価機能加算
- 麻酔管理料Ⅰ・Ⅱ
- 周術期薬剤管理加算
- 放射線治療専任加算
- 外来放射線治療加算
- クラウン・ブリッジ維持管理料
- 高エネルギー放射線治療
- 強度変調放射線治療（IMRT）
- 1回線量増加加算（全乳房照射）
- 画像誘導放射線治療加算（IGRT）
- 体外照射呼吸性移動対策加算
- 1回線量増加加算（前立腺照射）
- 定位放射線治療
- 定位放射線治療呼吸移動対策加算
- 画像誘導密封小線源治療加算
- CAD／CAM冠及びCAD／CAMインレー
- 保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による術中迅速病理組織標本作製
- 保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による迅速細胞診
- デジタル病理画像による病理診断
- 病理診断管理加算2
- 悪性腫瘍病理組織標本加算

## 先進医療A（第2項先進医療技術）（令和5年5月1日現在）

| | |
|---|---|
| 平成25.3.1 | 末梢血単核球移植による血管再生治療 |
| 令和 4.4.1 | 子宮内細菌叢検査1 |
| 〃 | 子宮内膜受容能検査1 |
| 令和 4.4.1 | 子宮内膜受容能検査2 |
| 令和 4.10.1 | 子宮内細菌叢検査2 |
| 令和 5.3.1 | 膜構造を用いた生理学的精子選択術 |

## 先進医療B（第3項先進医療技術）（令和5年5月1日現在）

| | |
|---|---|
| 平成27.7.1 | インターフェロンα皮下投与及びジドブジン経口投与の併用療法 |
| 平成28.11.1 | 腹腔鏡下センテネルリンパ節生検早期胃がん |

# 施設案内 Information

## 病院各階案内図 | Guide to Hospital Floors

[ 病棟 ]

（令和4年5月1日現在）

| | 北棟 | 南棟 | 病床数 |
|---|---|---|---|
| 12F | ▪レストラン・三医会ホール | | |
| 11F | ▪病棟 | | 97床 |
| 10F | ▪病棟 | | 98床 |
| 9F | ▪病棟 | | 98床 |
| 8F | ▪病棟 | | 99床 |
| 7F | ▪病棟 | ▪病棟 | 101床 |
| 6F | ▪病棟 | ▪病棟 | 92床 |
| 5F | ▪病棟 | ▪病棟 | 76床 |
| 3F | ▪手術部 ▪材料部 ▪輸血部 ▪臨床工学部 ▪病理部 | | |
| 2F | ▪総合集中治療センター<br>▪血液浄化療法部 ▪光学医療診療部 ▪放射線部 ▪血管ハートセンター | | 24床 |
| 1F | ▪材料部 ▪薬剤部 ▪医療材料渡し口<br>▪救命救急センター救急外科 ▪栄養診療部 ▪時間外受付・防災センター | ▪医療売店 ▪理容室 ▪美容室 | 合計 685床 |

[ 外来・診療棟 ]

| | | | |
|---|---|---|---|
| 5F | ▪大ホール | ▪臨床研修キャリア支援部<br>▪院内学級 | ▪患者図書館 |
| 4F | ▪皮膚科<br>▪歯科口腔外科・口腔ケアセンター | ▪精神科神経科 | ▪脳波検査室<br>▪肝炎相談支援センター |
| 3F | ▪総合診療科 ▪総合内科 ▪循環器内科<br>▪消化器・肝臓内科 ▪呼吸器内科<br>▪腎臓内科 ▪感染症内科 ▪血液内科<br>▪腫瘍内科 ▪糖尿病・内分泌内科 | ▪腎泌尿器外科<br>▪緩和ケア科<br>▪リウマチ・膠原病センター<br>▪ゲノム診療科 | ▪生理機能検査室<br>▪採血室<br>▪外来化学療法部<br>▪遺伝カウンセリング室 |
| 2F | ▪一般外科 ▪小児外科 ▪整形外科 ▪眼科<br>▪放射線部（X線撮影・透視・CT・MRI）<br>▪麻酔科（ペインクリニック・統合医療・鍼灸）<br>▪漢方医学センター | ▪心臓血管外科 ▪産科婦人科<br>▪消化管外科 ▪肝膵胆・移植外科<br>▪小児科 ▪高度生殖医療センター | ▪脳神経外科 ▪脳神経内科<br>▪呼吸器外科 ▪乳腺センター<br>▪耳鼻咽喉・頭頸部外科<br>▪形成外科 ▪放射線科 |
| 1F | ▪総合サポートセンター ▪臨床研究開発センター<br>▪放射線治療 ▪リハビリテーション部 ▪ローソン<br>▪栄養指導室 ▪持参薬管理室 ▪IR検査室 | ▪臓器移植センター<br>▪ドトール | ▪各種受付 ▪リボンズハウス<br>▪ATMコーナー |

## 1F 外来診療棟フロア案内

A くつろぎ・憩いのコーナー

B 美容室

C 理容室

D 医療売店

E 休憩コーナー（ウッドデッキ）

F ドトール

G ローソン

H ATM

I 休憩コーナー

J 総合サポートセンター

# 敷地及び建物面積

## 大学院医学系研究科・医学部

敷地面積／51,143㎡　建物面積／33,305㎡　（令和5年5月1日現在）

| 名称 | 構造 | 面積（㎡） | 建築年月日 |
|---|---|---|---|
| 先端医科学教育研究棟（基礎医学校舎） | RC-5 | 9,139 | 昭和45.12.15 |
| 多用途棟 | S-1 | 288 | 昭和45.12.15 |
| 変電室 | S-1 | 150 | 昭和45.12.15 |
| 医学系サークル棟 | S-1 | 389 | 昭和46. 3.31 |
| 総合医学教育棟 | RC-2 | 2,130 | 昭和48. 4.30 |
| 探索医学研究棟 | RC-3 | 3,229 | 昭和49. 8.31 |
| 乾燥室 | B-1 | 41 | 昭和50. 2.28 |
| 病態医科学研究棟 | SRC-9 | 9,804 | 昭和50.12.25 |
| 臨床講義室 | R-2 | 621 | 昭和55. 3.31 |
| 看護学科棟 | SRC-6 | 7,056 | 平成12.11.16 |
| 医療技術棟 | S-1 | 156 | 平成15 |
| 渡り廊下 | — | 186 | — |
| その他 | — | 89 | — |
| 計 | | 33,278 | |

## 医学部附属病院

敷地面積／68,593㎡　建物面積／82,326㎡　（令和5年5月1日現在）

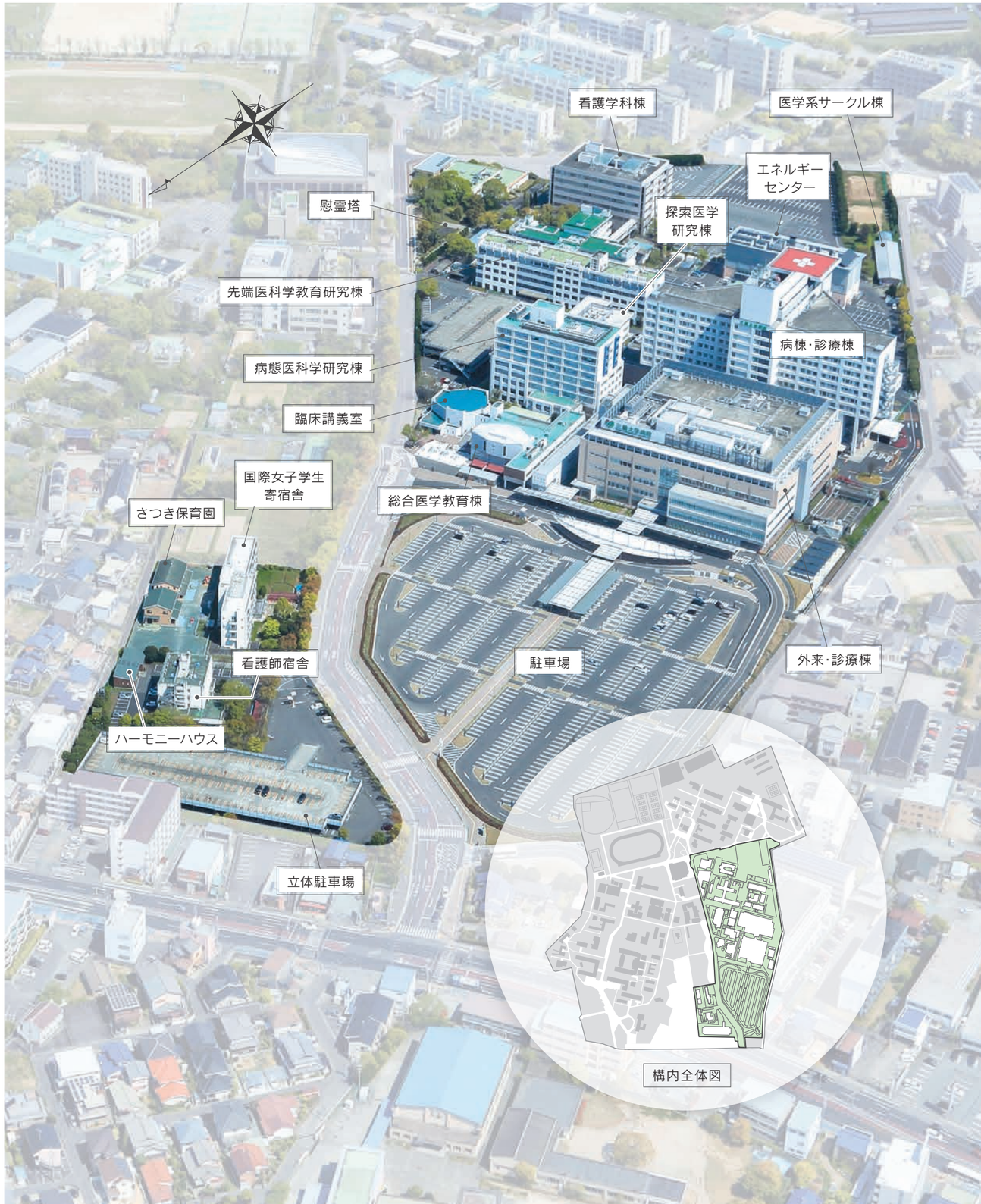
| 名称 | 構造 | 面積（㎡） | 建築年月日 |
|---|---|---|---|
| 看護師宿舎 | RC-4 | 1,323 | 昭和50. 7.26 |
| 臨床研究開発センター | S-2 | 224 | 平成21. 7. 6 |
| 保育園（別棟含む） | W-2（S-1） | 673 | 令和 4. 3.29 |
| エネルギーセンター | R-3 | 2,480 | 平成22.12.28 |
| 病棟・診療棟 | SRC-12 | 40,650 | 平成23. 6.30 |
| 外来・診療棟 | RC-5 | 28,361 | 平成26.12 |
| 感染症危機管理センター | S-2 | 195 | 令和 3.10.29 |
| ハーモニーハウス | W-1 | 113 | 平成26 |
| 管理施設 | — | 1,296 | — |
| 立体駐車場（2箇所） | — | 7,062 | — |
| 駐車整理券事務所 | S-1 | 87 | 平成29. 7.31 |
| その他 | — | 76 | — |
| 計 | | 82,540 | |

【病院その他建物】井水プラント内3棟　【医学部その他建物】（125）車庫、（127）危険物倉庫、（130）ポンプ庫





# 建物配置図



Location and Access

# 所在地・アクセス

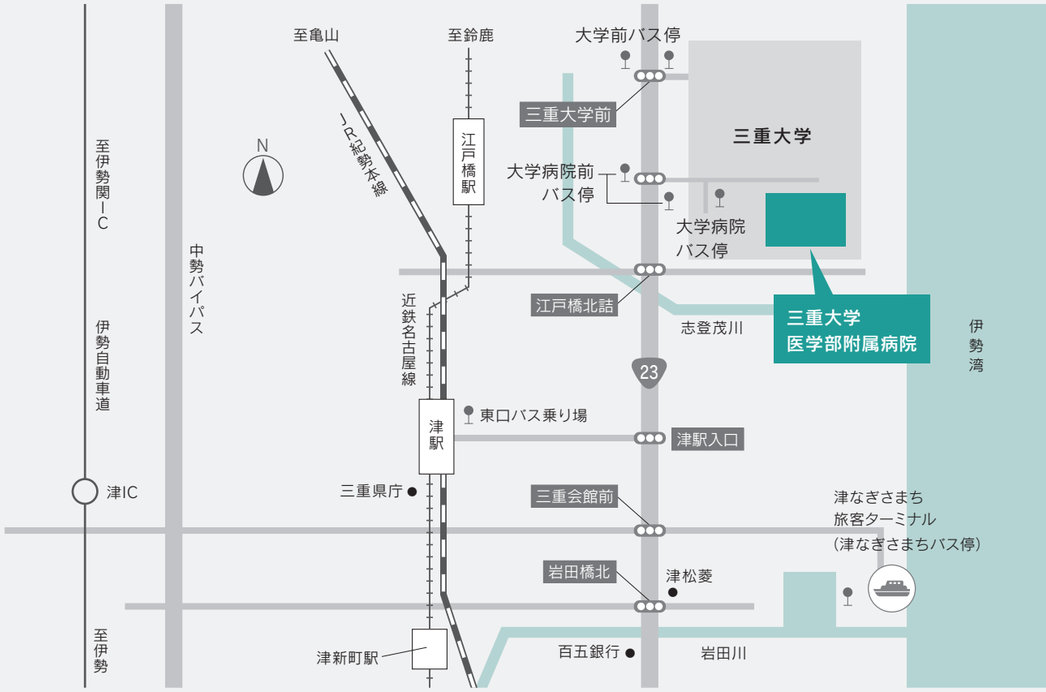
三重大学大学院 医学系研究科・医学部
https://www.medic.mie-u.ac.jp

三重大学医学部 看護学科
https://www.medic.mie-u.ac.jp/nur/

三重大学医学部附属病院
https://www.hosp.mie-u.ac.jp

所在地・連絡先　〒514-8507 三重県津市江戸橋二丁目174番地　TEL 059-232-1111

[ 周辺案内図・交通のご案内 ]




**近鉄電車「急行」で**

| | | | |
|---|---|---|---|
| 名古屋より | 近鉄名古屋駅 | 約60分 | 江戸橋駅 |
| 京都・大阪より | 伊勢中川駅 | 約15分 | 江戸橋駅 |

江戸橋駅 → 徒歩 約15分 → 三重大学

**近鉄電車「特急」で**

| | | | |
|---|---|---|---|
| 名古屋より | 近鉄名古屋駅 | 約50分 | 津駅 |
| 大阪より | 大阪難波駅 | 約90分 | 津駅 |
| 京都より | 京都駅 | 約110分 | 津駅 |

津駅 → バス・タクシー 約15分 → 三重大学

**JR「快速みえ」で**

| | | | |
|---|---|---|---|
| 名古屋より | JR名古屋駅 | 約50分 | 津駅 |

津駅 → バス・タクシー 約15分 → 三重大学

**近鉄・JR「津駅」から**

1) 津駅東口バスのりば「4番」から三重交通バスで、「大学病院」(93系統)、「白塚駅」(06系統)行きの一部で、「大学病院」下車
2) 津駅東口バスのりば「4番」から三重交通バスで、「白塚駅」(06系統)、「千里駅」(40系統)、「三重病院」(51系統)、「椋本(むくもと)」(52系統)、「豊が丘」(52系統)、「サイエンスシティ」(52系統)、「三行(みゆき)」(53系統)、「高田高校前」(56系統)行きで、「大学病院前」下車
3) 津駅からタクシーで約10分。

**近鉄「江戸橋駅」から**

徒歩で約15分(江戸橋駅にはタクシー乗り場はありません)。

**中部国際空港(セントレア)から**

津エアポートライン(船)で津なぎさまちへ40分
1) 「津なぎさまち」から三重交通バスで「津駅前」まで約15分
2) 「津なぎさまち」からタクシーで三重大学まで約15分

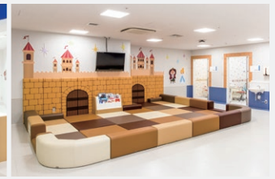
# PHOTO GALLERY 2023

三重大学病院 フォトギャラリー

待合

エントランス

スタッフステーション


小児外来

感染症危機管理センター

磁気共鳴診断装置

放射線治療室

ドクターヘリ

ハイブリッド手術室

病棟

手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」

国立大学法人 三重大学
大学院医学系研究科・医学部　医学部附属病院
概要(令和5年度／2023)

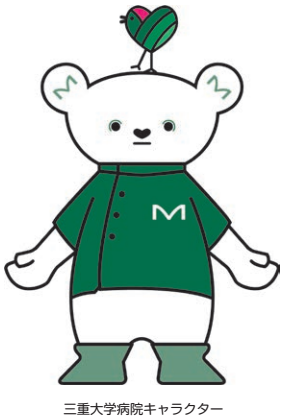
発行日／2023年8月
発行者／国立大学法人 三重大学
大学院医学系研究科・医学部　医学部附属病院
〒514-8507 三重県津市江戸橋二丁目174番地

© Mie University,2023

# OUTLINE 2023

三重大学シンボルマーク

三重大学病院シンボルマーク



三重大学病院キャラクター
ミーベとミッピ